

平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年10月20日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社アジュバンコスメジャパン

コード番号 4929 URL http://www.adjuvant.co.jp/

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松井 健二

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部本部長 (氏名) 中川 秀男 TEL 078-351-3136

四半期報告書提出予定日 平成29年10月27日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績（平成29年3月21日～平成29年9月20日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	2,564	13.8	337	20.4	341	23.8	217	0.4
29年3月期第2四半期	2,253	3.2	280	△22.4	275	△35.1	217	△13.2

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 216百万円 (12.4%) 29年3月期第2四半期 192百万円 (△20.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	27.55	27.39
29年3月期第2四半期	27.35	27.20

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第2四半期	5,737	4,567	79.6	577.47
29年3月期	5,783	4,541	78.5	574.13

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 4,567百万円 29年3月期 4,541百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	-	0.00	-	24.00	24.00
30年3月期	-	0.00	-	-	-
30年3月期(予想)	-	-	-	24.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年3月21日～平成30年3月20日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,108	7.1	540	4.1	553	4.7	332	0.5	41.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期2Q	7,959,600株	29年3月期	7,959,600株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	50,000株	29年3月期	50,000株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期2Q	7,909,600株	29年3月期2Q	7,934,328株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注記事項等については、添付資料4頁「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明会資料及び決算説明会内容の入手方法）

当社は、平成29年10月23日（月）にアナリスト向け説明会を開催する予定です。

その模様及び説明内容（音声）については、当日使用する決算説明資料とともに、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費や設備投資の持ち直しの動きが継続し、緩やかな回復基調が続いておりますが、米国の政策動向、北朝鮮情勢を巡る地政学リスク等、先行き不透明な状況ではあります。

美容業界におきましては、顧客単価の下落、来店サイクルの長期化等、サロン※注1経営において厳しい環境が続いており、当社商品を販売するアジュバンサロン※注2においても同様の影響がありました。

このような状況のもと、当社グループは、営業方針を「年間販促計画の策定と実行」「カウンセリングの知識・技術の習得」「アフターフォローの習慣化」「顧客分析の徹底と関係性の強化」として掲げ、サロンの安定した経営サポートを目指すとともに、引き続き、商品の流通状況が把握できるトレーサビリティシステム等で、非正規流通取引先※注3の取締りに取り組んでおります。

売上高につきましては、平成28年6月1日付で、エクシードシステム株式会社を連結子会社としたこと及び、スキンケア商品の新品であるダイヤモンドジェイ(DJ)シリーズが堅調に推移したことにより増加いたしました。なお、アジュバンサロン登録軒数につきましては、当第2四半期連結会計期間末で6,911軒となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は2,564百万円(前年同期比13.8%増)となりました。売上高の増加に伴い利益面では、営業利益337百万円(前年同期比20.4%増)、経常利益341百万円(前年同期比23.8%増)、前年同期に子会社の税務上の繰越欠損金が解消したことにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は217百万円(前年同期比0.4%増)となりました。

区分別売上高は、売上割戻金を含めて次のとおりであります。

区分	前第2四半期連結累計期間		当第2四半期連結累計期間		増減額 金額(百万円)	増減率 (%)
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)		
スキンケア	978	43.4	1,031	40.2	53	5.4
ヘアケア	1,183	52.5	1,130	44.1	△52	△4.4
カラー剤	24	1.1	20	0.8	△3	△14.0
その他	225	10.0	531	20.7	306	136.0
売上割戻金	△157	△7.0	△150	△5.8	6	—
合計	2,253	100.0	2,564	100.0	310	13.8

(注) 1. エクシードシステム株式会社(連結子会社)、ADJUVANT HONG KONG COMPANY LIMITED(連結子会社)の売上高は、「その他」に含んでおります。

2. 売上割戻金は、商品ごとではなく売上高の合計を基準として割戻率を設定しているため、区分ごとに配賦せず合計額で表示しております。

国内海外別売上高は、次のとおりであります。

区分	前第2四半期連結累計期間		当第2四半期連結累計期間		増減額 金額(百万円)	増減率 (%)
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)		
国内売上高	2,116	93.9	2,421	94.4	304	14.4
海外売上高	136	6.1	143	5.6	6	4.6
合計	2,253	100.0	2,564	100.0	310	13.8

当社グループは、単一セグメントであるためセグメント別の記載はしておりませんが、区分別売上高の概要は以下のとおりであります。

(スキンケア)

スキンケア商品の売上高は、新商品であるダイヤモンドジェイ(DJ)シリーズの販売が、引き続き、堅調に推移いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,031百万円(前年同期比5.4%増)となりました。

(ヘアケア)

ヘアケア商品の売上高は、前期末に対応した非正規流通先の影響により前年同期を下回りました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の売上高は1,130百万円(前年同期比4.4%減)となりました。

(カラー剤)

カラー剤商品の売上高は、アジュバンサロンへの継続的なフォローが不十分であったこと等から、前年同期を下回りました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は20百万円(前年同期比14.0%減)となりました。

(その他)

その他の区分には、前第2四半期連結累計期間よりエクシードシステム株式会社の売上高が含まれております。

MAPシステム※注4におきましては、当第2四半期連結会計期間末における契約件数が250件(前期末比8件減)となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は531百万円(前年同期比136.0%増)となりました。

※注1「サロン」

理美容室・エステティックサロン・ネイルサロン・アイラッシュサロン・美容クリニック等を指します。

※注2「アジュバンサロン」

初回に100千円以上の仕入を行い、当社グループが指導する商品の案内方法等を定めたアジュバンサロン契約を締結したサロンを指します。なお、平成30年3月期よりA・C・S登録店を見直し、アジュバンサロンとしております。

※注3「非正規流通取引先」

カウンセリングを行わずインターネット等による販売を行うアジュバンサロン、代理店を指します。

※注4「MAPシステム」

サロンの顧客管理、経営分析のために提供しているクラウド型経営サポートシステムを指します。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して46百万円減少し、5,737百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末と比較して317百万円減少の3,446百万円となりました。主な変動要因は、現金及び預金の減少349百万円、受取手形及び売掛金の減少19百万円、有価証券の取得による増加100百万円によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末と比較して271百万円増加の2,290百万円となりました。主な変動要因は、有形固定資産の償却による減少31百万円、社債の購入等による投資有価証券の増加303百万円によるものであります。

流動負債は、前連結会計年度末と比較して63百万円減少の663百万円となりました。主な変動要因は、買掛金の減少44百万円によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末と比較して8百万円減少の506百万円となりました。主な変動要因は、長期借入金の減少17百万円、役員退職慰労引当金の増加9百万円によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比較して26百万円増加の4,567百万円となりました。主な変動要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益による増加217百万円、配当金の支払による減少189百万円によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、営業活動により得られた資金を配当金の支払、投資有価証券の取得等で使用した結果、前連結会計年度末に比べて320百万円減少し、当第2四半期連結会計期間末には1,846百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は、241百万円(前年同期に使用した資金は12百万円)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益341百万円の計上、減価償却費38百万円の計上、売上債権の減少額19百万円、仕入債務の減少額44百万円及び法人税等の支払額155百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は344百万円(前年同期比178百万円増)となりました。これは主に、投資有価証券の取得による支出300百万円、定期預金の払戻による収入101百万円、定期預金の預入による支出125百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は215百万円(前年同期比57百万円減)となりました。これは主に、配当金の支払額189百万円、長期借入金の返済による支出20百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の通期の連結業績予想につきましては、前回発表(平成29年4月21日)の連結業績予想からの変更はありません。今後の業績推移等によって通期業績予想の見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月20日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,391,386	2,041,811
受取手形及び売掛金	542,311	522,318
有価証券	—	100,000
商品及び製品	522,796	516,043
原材料及び貯蔵品	22,906	19,914
その他	296,652	251,102
貸倒引当金	△11,397	△4,284
流動資産合計	3,764,655	3,446,905
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	882,643	882,325
その他	743,070	748,107
減価償却累計額	△446,774	△478,170
有形固定資産合計	1,178,940	1,152,262
無形固定資産		
のれん	80,406	70,946
その他	28,123	22,061
無形固定資産合計	108,530	93,008
投資その他の資産		
投資有価証券	477,827	780,880
その他	264,306	273,264
貸倒引当金	△10,646	△9,044
投資その他の資産合計	731,487	1,045,101
固定資産合計	2,018,957	2,290,371
資産合計	5,783,613	5,737,277
負債の部		
流動負債		
買掛金	174,280	129,908
1年内返済予定の長期借入金	40,446	35,460
未払法人税等	135,359	98,155
賞与引当金	98,277	103,846
その他	279,296	296,311
流動負債合計	727,659	663,681
固定負債		
長期借入金	64,935	47,565
退職給付に係る負債	34,840	36,799
役員退職慰労引当金	360,320	369,980
資産除去債務	26,858	26,896
その他	27,885	24,825
固定負債合計	514,839	506,066
負債合計	1,242,498	1,169,748

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月20日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月20日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	757,176	757,176
資本剰余金	717,107	717,107
利益剰余金	3,111,229	3,139,286
自己株式	△45,550	△45,550
株主資本合計	4,539,963	4,568,020
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△5,828	△3,397
為替換算調整勘定	6,979	2,905
その他の包括利益累計額合計	1,150	△491
純資産合計	4,541,114	4,567,528
負債純資産合計	5,783,613	5,737,277

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年3月21日 至平成28年9月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年3月21日 至平成29年9月20日)
売上高	2,253,836	2,564,484
売上原価	837,907	940,513
売上総利益	1,415,929	1,623,971
販売費及び一般管理費	1,135,737	1,286,656
営業利益	280,191	337,315
営業外収益		
受取利息	1,758	1,854
受取配当金	140	304
受取家賃	—	1,003
雑収入	3,250	3,997
営業外収益合計	5,149	7,160
営業外費用		
支払利息	396	302
為替差損	9,010	2,451
雑損失	8	92
営業外費用合計	9,415	2,847
経常利益	275,926	341,628
特別利益		
投資有価証券売却益	22	—
段階取得に係る差益	27,442	—
特別利益合計	27,465	—
特別損失		
固定資産除却損	—	9
特別損失合計	—	9
税金等調整前四半期純利益	303,391	341,618
法人税、住民税及び事業税	94,368	114,061
法人税等調整額	△8,002	9,669
法人税等合計	86,366	123,731
四半期純利益	217,025	217,886
親会社株主に帰属する四半期純利益	217,025	217,886

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年3月21日 至平成28年9月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年3月21日 至平成29年9月20日)
四半期純利益	217,025	217,886
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6,202	2,430
為替換算調整勘定	△18,466	△4,073
その他の包括利益合計	△24,668	△1,642
四半期包括利益	192,356	216,244
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	192,356	216,244
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年3月21日 至平成28年9月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年3月21日 至平成29年9月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	303,391	341,618
減価償却費	36,891	38,217
のれん償却額	4,729	9,459
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△960	△8,715
賞与引当金の増減額(△は減少)	△1,067	5,569
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△2,241	1,959
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	9,660	9,660
受取利息及び受取配当金	△1,899	△2,159
支払利息	396	302
為替差損益(△は益)	7,683	2,426
固定資産除却損	—	9
投資有価証券売却損益(△は益)	△22	—
段階取得に係る差損益(△は益)	△27,442	—
売上債権の増減額(△は増加)	51,443	19,993
たな卸資産の増減額(△は増加)	△80,311	6,975
仕入債務の増減額(△は減少)	△29,457	△44,371
その他	△100,644	13,703
小計	170,148	394,647
利息及び配当金の受取額	1,899	2,159
利息の支払額	△396	△302
法人税等の支払額	△184,507	△155,307
営業活動によるキャッシュ・フロー	△12,856	241,196
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△6,898	△7,093
無形固定資産の取得による支出	△660	△805
投資有価証券の取得による支出	△100,192	△300,023
投資有価証券の売却による収入	10,022	394
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	44,268	—
貸付けによる支出	△1,800	△1,000
貸付金の回収による収入	42	241
定期預金の預入による支出	△313,432	△125,873
定期預金の払戻による収入	208,963	101,013
保険積立金の積立による支出	△8,079	△8,723
保険積立金の解約による収入	3,771	—
その他	△2,618	△2,762
投資活動によるキャッシュ・フロー	△166,614	△344,631
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	300,000	400,000
短期借入金の返済による支出	△300,000	△400,000
長期借入金の返済による支出	△77,883	△20,676
リース債務の返済による支出	△4,678	△5,046
配当金の支払額	△190,121	△189,469
財務活動によるキャッシュ・フロー	△272,683	△215,192
現金及び現金同等物に係る換算差額	△26,394	△1,969
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△478,548	△320,595
現金及び現金同等物の期首残高	2,467,868	2,166,690
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,989,320	1,846,095

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

(セグメント情報等)

当社グループは、アジュバン化粧品の商品企画、研究開発、販売及びこれに附帯するサービス業務を営む単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。